

PIIAKnots
Public Interest Incorporated Association
公益社団法人ノッツ

公益社団法人Knots ノッツ・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行なっています。Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

お話: 村田香織先生 もみの木動物病院 獣医師

<http://www.mominoki-world.net/news/>



イヌと比較してネコは散歩の必要がなく留守番も比較的問題なくできる上、大きな声で吠えないことなどが、現代人のライフスタイルや住環境に合っている。ただし、行動学的側面を見ると猫が十



猫を飼う上で知ってほしいこと〜こねこ塾〜

人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生
分その環境に適応しているとはいいがたい。猫は犬に比較して家畜化の歴史も浅く、飼育目的に合わせた人為的選択もほとんど行われていない。言い換え

れば野性味の強い動物である上、つい最近まで屋外と家を自由に行動して猫本来の行動パターンをとることが許されてきた動物でもある。

すなわちマンションの1室で生活するように

進化した動物ではない。野性味あふれるネコという動物が人間社会で飼い主の家族の一員として幸せに暮らしていくためには、発達の教育がカギとなる。

かつての猫は室内と屋外を自由に歩き来する中で、さまざま

刺激に遭遇し、飼い主が意図せずとも多くのことを学習する機会に恵まれていた。

ただし現在の日本で交通事故や伝染病、猫同士の抗争などの危険性なく飼



達を妨げ、過剰なグルーミング、飼い主への攻撃行動、同居動物とのけんか、運動不足による肥満などさまざまな問題の原因となる。

い猫を外出させることができる地域はほとんどない。猫は室内飼育が望ましいと言えるが、反面多くの猫たちは刺激不足・経験不足に陥っている。刺激不足の生活は猫の正常な行動の発

加する「こねこ塾」を行っているが、そこで伝えているのは、室内飼育する際の環境整備や遊びの移動に慣らす方法、日常のケアなどについてである。

当院では定期的にご猫と飼い主が一緒に参